

# キウイフルーツ

【令和7年1月1日現在の農薬登録内容】2025版

※ 太枠は重要防除になります。

月(時期)	対象病害虫	区分	使用農薬(倍率)
3月上旬 (剪定後)	カイガラムシ類		スプレーオイル 100倍 混用 アプロード水和剤 1000倍
3月中旬 (発芽前)	かいよう病		ICボルドー66D 50倍
	キウイヒメヨコバイ	劇	アグロスリン乳剤 2000倍
4月中旬 ～ 4月下旬	花腐細菌病 かいよう病		コサイド3000 2000倍 (薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)
5月上旬	花腐細菌病		【環状はく皮処理】 蕾白化期(かく割れ)5月1日頃に主幹に4～5.5 <sup>cm</sup> の幅で行なう。尚、樹勢が弱っている樹では実施を控える。
5月中旬 (開花前)	かいよう病 花腐細菌病		コサイド3000 2000倍 (薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)
	カイガラムシ類 キウイヒメヨコバイ		アプロードエースフロアブル 1000倍
注)クワシロカイガラムシはカイガラムシ初発日から約14日の防除が重要です。 注)3月上旬にスプレーオイルにアプロード水和剤の1000倍を加用して散布した場合は、アプロードエースフロアブルの散布は不要			
6月上中旬	果実軟腐病		トップジンM水和剤 1000倍又は フロンサイドSC 2000倍
	カメムシ類		スタークル顆粒水溶剤2000倍
注)フロンサイドSCはかぶれやすいので注意する。 キイロマイコガ多発園ではフェニックスフロアブル 4000倍を追加散布する。			
7月上旬	果実軟腐病		ナリアWDG 2000倍
	キウイヒメヨコバイ カイガラムシ類	劇	モスピラン顆粒水溶剤 2000倍
7月中下旬	キイロマイコガ		フェニックスフロアブル 4000倍
9月上旬	果実軟腐病		ベルコート水和剤 1000倍
	注)カイガラムシ多発園では9月上旬にコルト顆粒水和剤3000倍又はトランスフォームフロアブル2000倍を散布する。		
10月上旬	果実軟腐病 貯蔵病害(灰色かび病)		ロブラール水和剤 1500倍
11下旬 ～ 12月中旬	かいよう病		ICボルドー66D 50倍

※ クワシロカイガラムシは年間3回ほど発生する。

第一世代発生時期での防除が重要

※ カメムシ発生時はスタークル顆粒水溶剤2000倍を散布する。

散布量は300～400<sup>g</sup>/10aを目安にタツリ散布する。

「農薬の使用は、使用基準を確認し、周りの他作物に農薬が飛散しないようにすること」